



## 支援を哲学するお話①

### 「知行合一（ちぎょうごういつ）」

知行合一とは中国で発展をした陽明学という思想哲学の考え方です。  
知る（知識）と行う（行動）は、それぞれが一つになる事で初めて完成をします。

人に何かを伝える時に「意味」と「方法」の2つが大切になります。  
何故それをしなければいけないのかという意味や意図。具体的にどの様にすれば良いのかという方法。両方がしっかりと伝わり、自発的・能動的に行動をしてもらう事が理想ですね。しかし、同時に伝えたとしても同時に伝わる訳ではありません。（なんだかややこしいですが…）では、どちらを先にすれば良いのか？

理想で言えば、意味や意図をしっかりと理解した上で納得をして行動をしてもらう事。ただ、現実には行動が先になる事・させてしまう事の方が多いです。（とりあえずやってみて！）

これを、子どもの支援に置き換えた時にはどうなるでしょうか。  
どちらを先にするのか？それは、その子の特性によって変えています。

例えば、

- ・言葉の発達がゆっくりで、行動にこだわりがあるお子さんの場合  
先に「行動」や「具体的な方法」を体験的に伝えます。大人が手本を見せ、実際に身体を動かす事で行動パターンを確立します。

- ・逆に理由に納得をしないと行動に移せない子には、何故それをしなければいけないのか。その行動をする事で自分や周りにとってどの様な良い事があるのか。などを言葉だけではなく、図や絵を用いながら視覚的に伝えます。

これら以外にもありますが、説明や伝えはその子が何に一番アンテナを張っているのかがポイントです。

この流れは必ずしも毎回上手く行くとは限りません。考えて、挑戦を繰り返しながら少しずつステップアップをして行きます。

人が成長をしていく時に、知識と行動という2本の柱の間を、階段をそれぞれ行き来しながら上がって行くサイクルを作る事で、新しく「知る」「身に付ける」事が「楽しく」「嬉しく」感じられる様になって行くのではないのでしょうか。

児童通所課 嵯峨憲司



# キッズサポートにじいろ 活動報告

## にじいろ狭山活動報告



【ぶどう狩り】台風で急遽、室内でのぶどう狩りとなりましたが、準備から子ども達が手伝ってくれました。ぶどう棚が完成して待ちに待った収穫ではそれぞれがハサミを使って好きなものを狩りしていました。

【音楽の日】大画面に映る自分の姿を見ながら好きな歌を歌いました。衣装を選んで曲を決めて、背景を決めて、本番に臨みます。本番のパフォーマンスも最高でした。皆が素敵なアーティストさんでした。



## にじいろ入間活動報告

### 模擬もぎプログラム

毎年恒例の果物狩り、今回は秋が旬の梨で行いました。子ども達がにじいろに到着すると一目散に駆けり、興味津々で手を伸ばしていました。本物同様にハサミを使って、上手に採る事が出来ました。おやつには本物のみずみずしい梨を食べて、秋を感じられる活動でした。



## 教材紹介

## ～教材名～ お話作りカード

- ・〇〇したら〇〇するなどの2つ以上の事柄の因果関係に気が付く。
  - ・物事を並べる、順序付ける。
  - ・物の状態の変化から時間の経過を知る。
  - ・物事を整理して話すことが出来るようになる。
  - ・相手の気持ちになって考えてみる。
- など、その時々で子ども一人一人のねらいに合わせて使用するカードや、質問する内容を替えています。

最初に職員が並べてそのあとに同じように並べてもらったり、自分で順番を考えて並べてもらったり、どういうお話なのかを説明してもらったり、登場人物の気持ちを考えて答えてもらったり、などやり方は一人一人に合わせて様々ですが、子ども達の作るストーリーに私たちも新鮮な発見を貰い楽しませて貰っています。

